

OTC医薬品の選択と指導

e-ラーニング(OTC医薬品講座)導入の試み

○加藤 哲太 (東京薬科大学薬学部)

セルフメディケーション学会

表題: OTC医薬品の選択と指導 e-ラーニング(OTC医薬品講座)導入の試み

発表者: ○加藤哲太

期日: 2010年10月23日 場所: 大阪府高槻市

現代社会の疾病の特徴として、アレルギー性の疾患や生活習慣病の増加があげられている。身体をこのような疾患から守るために重要視されているのが、「セルフメディケーション」で、その実現のためには、OTC医薬品を取り扱う薬剤師の能力の向上が必須と考えられる。今回、「OTC医薬品の選択と指導」をテーマとし、3年次生を対象にe-ラーニング(OTC医薬品講座)(ネットパイロティング株式会社)を導入した演習を行い、その効果を検討した。

【概要・方法】

国では「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」を策定し、国民自らが健康増進に努め、こうした病を予防しようとする考え、すなわち「セルフメディケーション」を推進している。本ゼミナールでは、OTC薬の選択と指導を通して「セルフメディケーション」への薬剤師の関わり方についての知識・技能を修得する。

【内容】

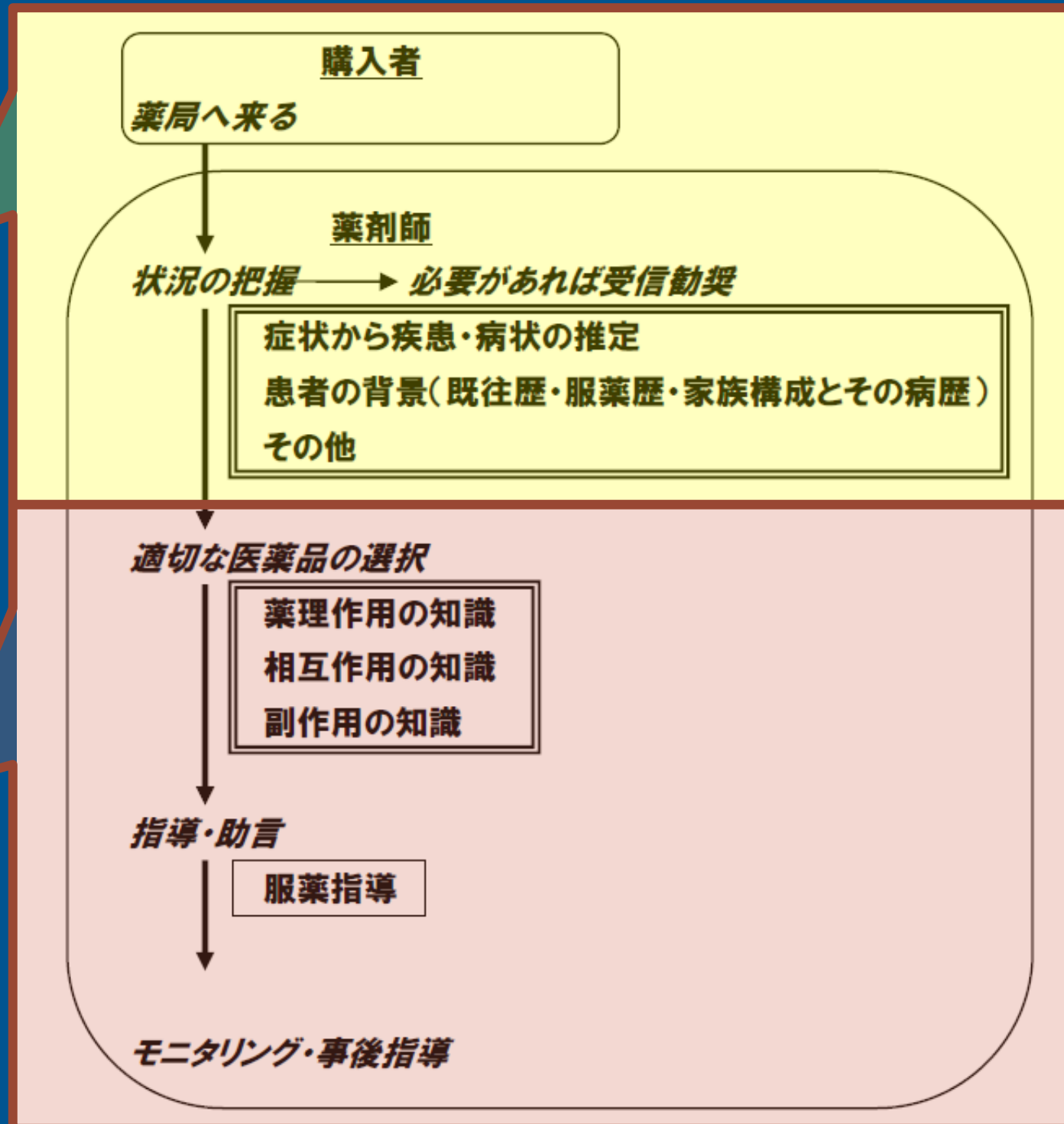
(1) 症状より、OTC薬の選択あるいは受診勧奨ができる。

(2) 症状のメカニズムについて説明できる。

(3) 症状から、OTC薬が選択でき、服薬指導ができる能力を養う。

(4) 薬の作用メカニズムについて説明できる。

(5) OTC薬の服薬指導ができる。



4年次

3年次

3年次生ゼミナールにおいて、e-ラーニングを導入して、3)、4)、5)の能力の向上を目指した。

東京薬科大学OTC医薬品講座

内容

<https://ex.npel.jp/>

にアクセス、各自のID、パスワードを入力してログイン
(ID、パスワードは半角で入力)

 学習しよう！

学習講座

講座一覧

講座名 [学習したい講座を選択してください]

東京薬科大学
OTC
医薬品講座

東京薬科大学OTC医薬品講座

OTC医薬品の全般的な知識と、第1類医薬品の商品特徴や販売ポイント、
具体的な接客例などを学習することができます。

OTC医薬品の全般知識

第1類医薬品学習

薬効群別 第1類医薬品適正使用情報

第1類医薬品の添付文書から学ぶ

薬効群別 相談応需・情報提供シミュレーション

情報提供例を動画で確認

OTC医薬品相談応需スキルアップ

相談応需に役立つ関連情報を確認

基礎学習

OTC医薬品基礎講座

OTC医薬品の基礎知識を復習

改正薬事法基礎講座

改正薬事法における薬剤師の職務を確認

最新情報

第1類医薬品等に関する最新情報解説(安全情報等)

関連ニュースを確認

薬効群別 第1類医薬品適正使用情報 ～第1類医薬品の添付文書から学ぶ～

かぜ薬

エスタックイブファイン
エスタックイブファイン顆粒
パブロンエースAX錠
パブロンエースAX微粒
こどもセンパア液
センパア内服液
マイトラベル

呼吸器官用薬

鎮咳去痰薬
アネトン せき止め顆粒
強カアスメトン
ミルコデ錠A

H2ブロッカー

アルサメック錠
アシノンZ
アシノンZ錠
アシノンZ胃腸内服液
アパロンZ
アルタットA
イノセアワンブロック
ガスター10 S錠
ガスター10<散>
ガスター10<錠>
ガスター10 内服液
ベッセンH2

薬効群別 相談応需・情報提供シミュレーション ～情報提供例を動画で確認～

相談応需・情報提供シミュレーションは、音声付きの動画により、改正薬事法で規定される第1類医薬品の情報提供業務をわかりやすく解説する学習教材です。

精神神経用薬

かぜ薬(内用):アンブロキシール塩酸塩、イブプロフェン、ヨウ化イソプロバミド等複合処方
エスタックイブファイン
かぜ薬(内用):アンブロキシール塩酸塩、イブプロフェン等複合処方
かぜ薬(内用):アンブロキシール塩酸塩、アセトアミノフェン等複合処方
鎮うん薬:テオフィリン
センパア内服液

消化器官用薬

ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬:シメチジン
ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬:ニザチジン
ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬:ファモチジン
ガスター10 内服液
ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬:ラニチジン塩酸塩
ヒスタミンH2受容体拮抗剤含有薬:ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩

OTC医薬品相談応需スキルアップ ～相談応需に役立つ関連情報を確認～

毎月の必須確認情報に掲載されるコンテンツ「相談応需スキルアップ」を、項目ごとにまとめたバックナンバーです。

動画でなっとく！ 症状と成分

症状が起こるしくみや第1類医薬品の成分のはたらきについて学べます。

症状のしくみ

しみ
疲れ
胃のトラブル
アレルギー
かぜ

成分のはたらき

トラネキサム酸
ATP
H2ブロッカー
アゼラスチン塩酸塩
アンブロキシール塩酸塩

添付文書から学ぶ (1)

適正使用情報確認

してはいけないこと 相談すること その他 相互作用

❌してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。

(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

(3) 15才未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気があらわれることがあります)

4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

(動物試験で乳汁中への移行が認められています)

5. 服用時は飲酒しないでください

6. 5日間を超えて服用しないでください

パブロンエースAX錠 <使用上の注意解説>

してはいけないこと 相談すること その他 相互作用

❌してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

(1) 過去に本剤によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、再度服用することによりショック(アナフィラキシー)、アナフィラキシー様症状、皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)等の重篤な副作用を起こすおそれがあるため、服用を避ける必要がある。

(2) 過去に非ステロイド性消炎鎮痛成分による喘息を起こしたことがある人は、本剤(イブプロフェン)により重篤な喘息発作を誘発するおそれがある。したがって、本剤及び非ステロイド性消炎鎮痛成分が配合されているかぜ薬、解熱鎮痛薬で喘息を起こしたことがある人は服用を避ける必要がある。

(3) 非ステロイド性消炎鎮痛成分による喘息には、ロイコトリエンが関わっていると考えられている。ロイコトリエンは、炎症やアレルギー症状が起こるときに、肥満細胞などから放出される。毛細血管の透過性を高め、リンパ球などの免疫細胞の遊走を促して炎症を亢進するほか、気管支を収縮させるはたらきがあり、過量に存在すると、喘息の原因になる。ロイコトリエンは、痛みに関与するプロスタグランジンと同じ原料であるアラキドン酸から、リポキシゲナーゼという酵素によって作られるが、プロスタグランジンの産生を妨げる解熱鎮痛成分を使用すると、プロスタグランジンの産生が抑えられる分、原料のアラキドン酸がロイコトリエンの産生にまわされて産生量が増え、これによって喘息を起こすと考えられる。

(4) イブプロフェン製剤の小児への使用は、症状の不顕性化の懸念から使用を避ける必要がある。

(5) これらの薬は本剤と重複する成分や同種薬効成分として、抗ヒスタミン成分、交感神経興奮成分、カフェイン類などを含んでいることが多く、併用すると過量服用となり、副作用を生じるおそれがあるため。

(6) クロルフェニラミンマレイン酸塩による眠気が起こることがある。したがって、本剤を服用した後は、不測の事故を未然に防ぐため自動車などの乗物や機械類の運転操作を避ける必要がある。

(7) クロルフェニラミンマレイン酸塩などの抗ヒスタミン成分による眠気などの中枢作用は、中枢に存在するヒスタミン受容体・H3受容体への抗ヒスタミン作用によると考えられている。中枢ではヒスタミンが受容体に作用することで覚醒作用をもたらすため、この抑制によって眠気などの症状が現れるとされている。なお、その中枢抑制作用の強さは、中枢への移行しやすさ(脂溶性の高さなど)などで異なってくる。

(8) アンブロキシソール塩酸塩は動物実験(ラット)において乳汁移行性が報告されている。

(9) 医療用医薬品における授乳婦への投与において、コデインが母乳へ移行することにより、乳児にモルヒネ中毒が生じたとの報告があった。これをうけ、ジヒドロコデインリン酸塩が母乳に移行し、乳児に同様の悪影響を起こすおそれがあるため、授乳中の服用禁止、あるいは服用中の授乳を禁止している。

(10) なお、コデイン類を配合する医薬品については、09年12月1日に使用上の注意が改訂され、授乳婦の使用に関する注意について、「相談すること」から「してはいけないこと」へ変更となった。

(11) アルコールは、かぜ薬・解熱鎮痛薬の成分の吸収・代謝に影響を与え、肝障害や中枢神経抑制作用等の副作用を増加させることがある。このため、服用時の飲酒は控える必要がある。

(12) 一般にかぜは1週間程度で治癒するといわれており、症状がなかなか改善しない場合には、ほかの疾患や合併症の可能性も考えられる。また、イブプロフェンはほかの感染症を不顕性化するおそれがあることから、服用期間は5日を限度としている。

かぜの11症状に(のどの痛み・せき・熱・鼻みずなどに)

パブロンエースAX錠

第1類医薬品
(総合かぜ薬)

◆パブロンエースAX錠は、アンブロキシソール塩酸塩をはじめ、9種類の有効成分を配合し、のどの痛み、せき、たん、熱、鼻みずなど11のかぜの諸症状に効果をあらわす総合かぜ薬です。

使用上の注意

❌してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 1 次の人は服用しないでください
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
(3) 15才未満の小児。
- 2 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
- 3 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気があらわれることがあります)
- 4 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください
(動物試験で乳汁中への移行が認められています)
- 5 服用時は飲酒しないでください
- 6 5日間を超えて服用しないでください



適正使用情報確認

してはいけないこと 相談すること その他 相互作用

❌相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師にご相談ください

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 高齢者。

(4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。

(5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(6) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難

(7) 次の診断を受けた人。

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病

パブロンエースAX錠 <使用上の注意解説>

してはいけないこと 相談すること その他 相互作用

❌相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師にご相談ください

(1) 医師から投薬を受けたり、治療を受けている患者では、処方薬との相互作用や、医師の治療に影響を与えるおそれがある。

(2) ジヒドロコデインリン酸塩など成分の一部は、胎盤関門を通過して胎児に移行するおそれがあり、妊娠中の薬剤の使用には慎重を期す必要があることから、本剤使用にあたっては産婦人科医に相談し、指示を受けることが大切である。

(3) 類似化合物(コデイン)では、マウスにおいて催奇形作用の報告がある。

(4) 一般に高齢者では生理機能の低下により、薬剤の作用が強くあらわれるおそれがあるため注意が必要である。

(5) dl-メチルエフェドリン塩酸塩は、交感神経興奮作用による末梢血管収縮や心悸亢進などを起こし、血圧を上昇させるおそれもある。

(6) 蕁麻疹やかぶれなどを起こしやすい人、食物アレルギーなどを起こしやすい体質の人、家族にアレルギー体質の人がいる人の場合には、薬剤によってアレルギー症状を起こす可能性が高いと考えられる。

(7) 服用によってアレルギー症状が現れた場合には、服用を中止して医師などに相談する。

(8) 薬剤により発疹・発赤、かゆみなどのアレルギー症状を起こしたことがある人は、アレルギーを起こした際に服用していた薬剤またはその類似薬剤の服用に注意が必要となる。

(9) 服用によってアレルギー症状が現れた場合には、服用を中止して医師などに相談する。

(10) 高熱：高熱のある人は、かぜ以外の疾患であることも考えられる。

(11) 排尿困難：抗ヒスタミン成分のクロルフェニラミンマレイン酸塩の抗コリン作用によって、排尿筋が弛緩、括約筋が収縮し、尿が貯留しやすくなる。したがって、排尿困難の症状がある人では、症状を悪化させるおそれがあり、服用前に専門家に相談する必要がある。

(12) 甲状腺機能障害：甲状腺機能亢進症のある人は、dl-メチルエフェドリン塩酸塩の交感神経興奮作用により症状を悪化させるおそれがある。

(13) 糖尿病：dl-メチルエフェドリン塩酸塩の交感神経興奮作用により、肝臓のグリコーゲンの分解が促進されて血糖値が上昇することがあるので、糖尿病の人は注意が必要である。

(14) 心臓病、高血圧：dl-メチルエフェドリン塩酸塩は、交感神経を興奮させて心拍数を増加させ、血圧を上昇させるので高血圧や心臓病を悪化させるおそれがある。イブプロフェンなどの非ステロイド性消炎鎮痛成分は、腎臓での水分吸収を促進して循環血流量を増やすため、高血圧や心臓病を悪化させるおそれがある。

(15) 肝臓病：イブプロフェン服用による薬剤性肝障害が報告されているため、肝臓に障害がある人では症状の悪化のおそれがある。

(16) 腎臓病：イブプロフェンなどの非ステロイド性消炎鎮痛成分は、腎臓のプロスタグランジンの生合成阻害により、腎血流量の低下、浮腫、循環体液量の増加を起こし、腎臓病を悪化させるおそれがある。

(17) 緑内障：クロルフェニラミンマレイン酸塩は、抗コリン作用によって瞳孔とともに房水通路を狭くし、眼圧を上昇させて緑内障を悪化させるおそれがある。

相談すること

1 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (8) 次の病気にかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病

2 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、浮腫
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、腹痛、胃・腹部膨満感、胸やけ、口内炎
精神神経系	めまい、しびれ感
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	服用後すぐにも、顔が赤く冷や汗、息が荒くなる
ショック(アナフィラキシー)	
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴った激しい発疹があらわれる
肝機能障害	全身のたる等があらわれ、尿量が減り、息が苦しさ、尿が赤くなる
腎障害	首筋のつこ、嘔吐等の状態は、特に結合組織病にあらわれる
無菌性髄膜炎	空せき(た、呼吸困難、めまい、かぜの空せき、発熱、用を中止する)
間質性肺炎	(2) 5~6回服用しても症状が(特に熱が3日以上続いた)
ぜんそく	(3) 次の症状があらわれる、の継続又は増強が見られ、医師又は薬剤師に相談、便秘、口のかわき、下痢

用法・用量、効能、成分、保管及び取扱い上の注意に

用法・用量

次の量を食後なるべく30分以内に服用してください。

年齢	1回量	服用回数
15才以上	3錠	1日3回
15才未満	服用しないこと	

【注意】
 (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
 (2) 錠剤の取り出し方
 図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押しつけて裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)

効能

かぜの諸症状(のどの痛み、せき、発熱、鼻みず、鼻づまり、くしゃみ、たん、頭痛、悪寒、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和



成分

3錠中

- イブプロフェン 150mg
発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みを和らげます。
- アンブロキシソール塩酸塩 150mg
せきの服用によるのどにからまるよごしたたんを出しやすくします。
- ジヒドロコデインリン酸塩 8mg
せき中枢にはたいてい、せきを和らげます。
- dl-メチルエフェドリン塩酸塩 20mg
気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきを和らげます。
- クロルフェニラミンマレイン酸塩 2.5mg
くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
- 無水カフェイン 25mg
頭痛を和らげます。
- チアミン硝化物(ビタミンB1) 8mg

**薬理作用を調べる
(アンブロキシソール塩酸塩)**

相互作用を調べる

適正使用情報確認

してはいけないこと 相談すること その他 相互作用

一相互作用一

成分	区分	関連薬剤	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
アンブロキシソール塩酸塩	併用禁忌	なし		
	併用注意	なし		
イブプロフェン	併用禁忌	ジドブジン (レトロビル)	血友病患者において出血傾向が増強したとの報告がある。	機序は不明である。
		クマリン系抗凝血剤 (ワルファリン)	クマリン系抗凝血剤 (ワルファリン) の作用を増強するおそれがあるため、用量を調節するなど注意すること。	本剤がワルファリンの血漿蛋白結合と競合し、遊離型ワルファリンが増加するためと考えられる。
	併用注意	アスピリン製剤 (抗血小板剤として投与している場合)	アスピリンの血小板凝集抑制作用を減弱するとの報告がある。	本剤が血小板シクロオキシゲナーゼ-1 (COX-1) とアスピリンの結合を阻害するためと考えられる。
		リチウム製剤 (炭酸リチウム)	リチウムの血中濃度が上昇し、リチウム中毒を呈したとの報告があるため、併用する場合にはリチウムの血中濃度をモニターするなど観察を十分に行い、慎重に投与すること。	本剤のプロスタグランジン合成阻害作用により、腎でのナトリウム排泄が減少してリチウムクリアランスを低下させ、リチウムの血中濃度が上昇すると考えられる。
		チアジド系利尿薬 (ヒドロクロロチアジド)	これら利尿薬の作用を減弱するとの報告がある。	本剤のプロスタグランジン合成阻害作用により、水・塩類の体内貯留が生じると考えられる。
		タクロリムス	急性腎不全があらわれたとの報告がある。	本剤のプロスタグランジン合成阻害作用による腎障害がタクロリムスの腎障害を助長するためと考えられる。
		ニューキノロン系抗菌剤・エノキサシン等	他の非ステロイド性消炎鎮痛剤で併用により痙攣があらわれたとの報告がある。	ニューキノロン系抗菌剤のGABA阻害作用が併用により増強されるためと考えられる。
メトトレキサート	メトトレキサートの作用を増強するおそれがあるため、用量を調節するなど注意すること。	本剤のプロスタグランジン合成阻害作用により腎血流が減少し、メトトレキサートの腎排泄が抑制されることにより、メトトレキサートの血中濃度が上昇すると考えられる。		
コレステラミン	本剤の血中濃度が低下するおそれがある。	コレステラミンは陰イオン交換樹脂であり、消化管内で本剤と結合して本剤の吸収が遅延・抑制されると考えられる。		
クロルフェニラミンマレイン酸塩	併用注意	中枢神経抑制剤・アルコール(飲酒)	相互に作用を増強することがあるので、併用する場合には減量するなど慎重に投与すること。	本剤の中枢神経抑制作用により、これらの薬剤の作用が増強される。
		モノアミン酸化酵素阻害剤 (MAO阻害剤)	相互に作用を増強することがあるので、併用する場合には減量するなど慎重に投与すること。	本剤の解毒機構に干渉し、作用を遅延化させ、増強することがある。
		ドロキシドパノルアドレナリン	併用により血圧の異常上昇を起こすおそれがある。	本剤はヒスタミンによる毛細血管拡張を抑制する。

アンブロキシソール塩酸塩の有用性

医療用で広く用いられる 去痰成分
アンブロキシソール塩酸塩

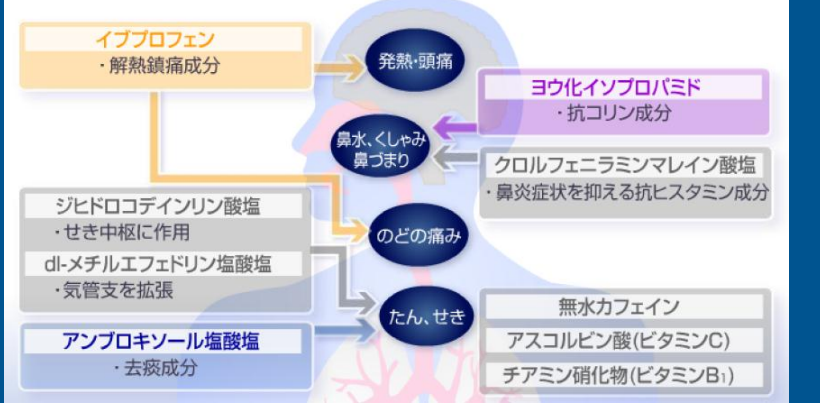
スイッチOTC成分として登場!

アンブロキシソール塩酸塩の有用性

たんに対する高い効果

- 気道のすべりを良くする
肺サーファクタント分泌促進作用
- 気道液の分泌を増やす
気道液分泌促進作用
- 線毛のはたらきを高める
線毛運動亢進作用

線毛運動を活発にすることで、たんを出しやすくする

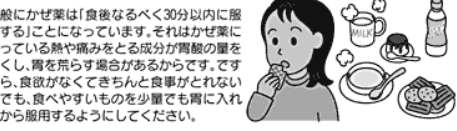


保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手のとどかない所に保管してください。
- 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わること)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封以内に服用してください。(品質保持のため)

くすりのQ&A

- Q** 食後に服用することになっていますが、食欲がない時はどうしたらいいですか?
A ビスケットや牛乳等、少量でも食べ物・飲み物をとってから服用してください。



本剤をご使用に
 あられる等、
 たら、お買い求
 いただきますよ
連絡先 大正
電話 03-
受付時間 8:30

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
 (独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkoc>
 電話：0120-149-931(フリーダイヤル)

**添付文書から学ぶ
(2)**

ジヒドロコデインリン酸塩	併用注意	中枢神経抑制剤・フェノチアジン系薬剤・バルビツール酸系薬剤等 吸入麻酔剤 モノアミン酸化酵素阻害剤 三環系抗うつ剤 β-遮断剤 アルコール	呼吸抑制、低血圧及び顕著な鎮静又は昏睡が起こることがある。	相加的に中枢神経抑制作用が増強する。
		クマリン系抗凝血剤・ワルファリン	クマリン系抗凝血剤の作用を増強させることがある。	機序は不明である。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	併用禁忌	カテコールアミン製剤・エピネフリン・イソプロテレノール等	不整脈、場合によっては心停止を起こすおそれがあるため併用を避けること。	相加的に作用(交感神経刺激作用)を増強させる。
		MAO阻害剤 甲状腺製剤 チロキシン リオチロニン 等	作用が増強されるおそれがあるため、減量するなど慎重に投与すること。	
無水カフェイン	併用注意	キサンチン誘導体・テオフィリン ステロイド剤 プレドニゾン 利尿剤 アミノフィリン	血清カリウム値が低下するおそれがある。併用する場合には定期的に血清カリウム値を観察し、用量について注意すること。	相加的に作用(血清カリウム値の低下作用)を増強する。 β2刺激剤はcAMPを活性化しNa-Kポンプを刺激する。
		キサンチン系薬剤・アミノフィリン、ジプロフィリン、テオフィリン 中枢神経興奮薬	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	併用薬の代謝・排泄を遅延させることがある。
		MAO阻害剤	頻脈、血圧上昇があらわれることがある。	
		シメチジン	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	カフェインの代謝・排泄を遅延させることがある。

ゼミナール OTC薬の選択と指導

1日目 授業スケジュール

e-ラーニング(Net-P) 各自へのID、PWの貸与と解説
 講義:今こそ薬局薬剤師の出番 セルフメディケーション時代
 e-ラーニングコンテンツ確認

2日目 課題学習レポート提出(個人)

1)スイッチOTC 2)アンブロキシール塩酸塩

その他コンテンツから学ぶ

3日目 グループ学習:添付文書を理解する グループ発表:添付文書を解説する チェックテスト

最終日(6日目) アンケート 1 (テレビ番組より) アンケート 2 (本実習を終えて)



第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

承認成分・処方 *赤字は、新規スイッチOTC成分です。
 イブプロフェン、アンブロキシール塩酸塩、ジヒドロコデインリン酸塩、
 dl-メチルエフェドリン塩酸塩、ヨウ化イソプロバミド、クロルフェニランミン酸塩、
 無水カフェイン、アスコルビン酸、チアミン硝酸物

製品例 エスタックイブファイン 製造販売元 エスエス製薬株式会社

お客様情報
 ●性別:女性 ●年齢:50代 ●使用者:本人
 ●購入の動機:
 ・かぜをひいた。たん、せきがひどい。
 ・売場のリーフレットを見て相談に来た。
 ●お客様から得られた確認情報:
 ・花粉症(アレルギー)がある。
 ・血圧が高め(血圧の薬は飲んでいない)
 ・抜歯後で、痛み止めを飲んでいる。

情報提供の内容 スタート

第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

情報提供の内容
 — 使用の可否確認事項 —

「購入の動機」は何か
 「使用者」は誰か

それはおつらいですね。たんによるせきや、鼻水がひどいということでしたら、おっしゃるとおり、こちらのかぜ薬がおすすめです。

第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

情報提供の内容
 — 使用の可否確認事項 —

「してはいけないこと」に該当するか否か

1. 次の人は服用しないこと
 (1) 本剤によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 (2) 本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用して喘息を起こしたことがある人。
 (3) 15歳未満の小児。

お客様は、このお薬は初めてでいらっしゃるようですが、ここにある成分や添加物で、アレルギーを起こしたことがあるものはございませんか？

第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

情報提供の内容
 — 使用の可否確認事項 —

「使用前に医師・薬剤師等に相談する必要がある人」か否か

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること
 (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人。
 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 (3) 高齢者。
 (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

ご本人やご家族がアレルギー体質だったり、薬のアレルギーなどはないですか？

第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

情報提供の内容
 — 使用の可否確認事項 —

「使用前に医師・薬剤師等に相談する必要がある人」か否か

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること
 (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人。
 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 (3) 高齢者。

Q このお客様は、お求めの医薬品を使用できますか？

花粉症の人はアレルギー体質と言えませんが、状態に注意しながら使用できる。
 花粉症の人はアレルギー体質なので、使用前に必ず医師に相談してもらおう。

第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

情報提供の内容
 — 使用に際しての注意等 —

「相談すること」副作用が発生したと思われる場合は、直ちに使用を中止し、医師または薬剤師に相談すること

(3) 服用後、次の症状が現れた場合。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、胸やけ、腹痛、腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ、しびれ感

それから、服用後に、ここに記載されているような症状や、何か気になる症状が現れた場合は、すぐに服用を止めて、この添付文書をもって、私ども薬剤師にご相談いただくか、お医者さんにご相談ください。

第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

情報提供の内容
 — 使用に際しての注意等 —

「してはいけないこと」に関する情報

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと(他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬)

ええと、「ロキソニン」です。

このお客様は、お求めの医薬品を使用できますか？

鎮痛剤の最後の服用から時間をあけて服用するよう注意し、かぜ薬を服用している間、鎮痛薬の使用を控えていただければ問題ない。
 配合されたイブプロフェンは、抜歯後などでは、出血傾向が現れるため使用できない。

第1類 医薬品 適正使用のための相談応需・情報提供シミュレーション
 ●精神神経用薬 — かぜ薬

情報提供の内容
 — 使用に際しての注意等 —

用法・用量
 次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に、1回3錠お飲みください。
 用法・用量は必ずお守りください。

年齢	大人(15歳以上)	15歳未満
1回量	3錠	服用しないこと

ご使用は、1日3回、食後なるべく30分以内に、1回3錠お飲みください。用法・用量は必ずお守りください。

グループ学習、グループ発表

添付文書を読むことができる(学習)、説明することができる(発表)

第1類医薬品の添付文書(かぜ薬): エスタックイブファイン、パブロンエースAX錠、こどもセンペア液

内容: ①添付文書に書かれている内容をグループで検討してまとめ、理解する。

例: 「してはいけないこと」について、その理由

「相談すること」について、相談された時の対応

副作用についての説明

薬効と成分との関連性

成分と他の医薬品、食品成分などとの相互作用

②発表は指定されたOTC薬について、グループごと資料を持たずに行う。

参考資料: e-ラーニング 東京薬科大学OTC医薬品講座、OTC薬ガイドブック、今日のOTC薬、OTC薬の選び方、使い方など

チェックテスト

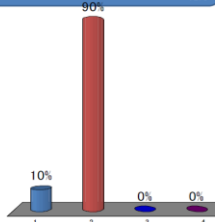
レスポンス・システム(Keepad)使用

かぜ薬

東薬・OTCトレーニング

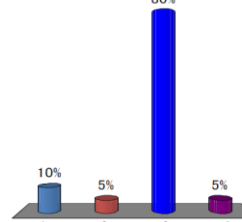
「エスタックイブファイン」に配合された抗コリン成分がとくに高い効果を発揮するのはどれか。1つ選びなさい。

1. のどの痛み
2. 鼻水
3. 発熱
4. 寒気



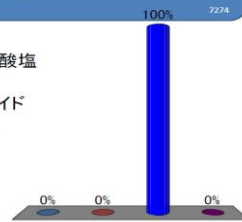
「エスタックイブファイン」に配合されている医療用成分のはたらきはどれか。1つ選びなさい。

1. 鎮痛作用
2. 解熱作用
3. 去痰作用
4. 抗炎症作用



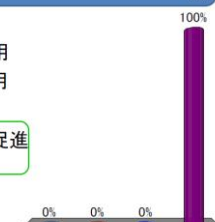
「エスタックイブファイン」には、一般用医薬品のかぜ薬では配合しているものが少ない、抗コリン成分が配合されているが、その抗コリン成分はどれか。1つ選びなさい。

1. スコブラミン臭化水素酸塩水和物
2. ペラドンナ総アルカロイド
3. ヨウ化イソプロバミド
4. ロートエキス



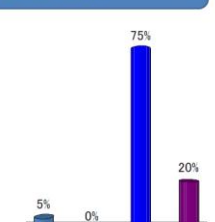
たんを排出しやすくするには、たんの粘度を下げるのが効果的である。そのために有効な作用はどれか。1つ選びなさい。

1. 気管支収縮作用
2. 抗ヒスタミン作用
3. 局所麻酔作用
4. 気道粘膜分泌促進作用



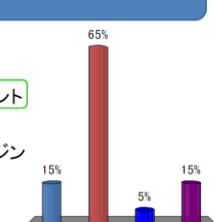
気管支などの気管の表面で、異物の排出を物理的に行っているのはどれか。1つ選びなさい。

1. 鞭毛
2. 微毛
3. 線毛
4. 柔毛



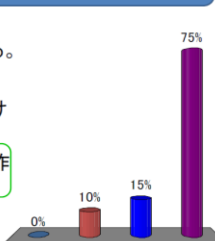
肺胞や細気管支で分泌され、呼吸を助け、異物の排出を促す物質はどれか。1つ選びなさい。

1. ロイコトリエン
2. 肺サーファクタント
3. マクロファージ
4. プロスタグランジン



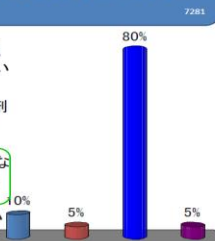
「エスタックイブファイン」に配合されているイブプロフェンは、どんな成分か。1つ選びなさい。

1. 小児が使用できる。
2. 作用時間が長い。
3. 胃腸に負担をかけない。
4. 末梢での抗炎症作用がある。



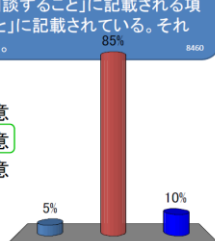
「エスタックイブファイン」の使用上の注意で、「してはいけないこと」に記載されているのはどれか。1つ選びなさい。

1. 「妊婦または妊娠していると思われる人は、本剤を服用しないでください」
2. 「次の診断を受けた人は、本剤を使用しないでください: 高血圧、心臓病」
3. 「授乳中の方は本剤を使用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください」
4. 「高齢者は、本剤を服用しないでください」



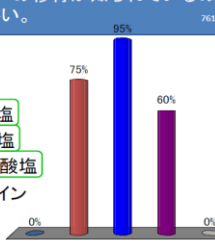
「パブロンエースAX」の使用上の注意において、通常、ジヒドロコデインリン酸塩やdl-メチルエフェドリン塩酸塩が配合された場合、「相談すること」に記載される項目が、「してはいけないこと」に記載されているのはどれか。1つ選びなさい。

1. 眠気に関する注意
2. 授乳に関する注意
3. 飲酒に関する注意



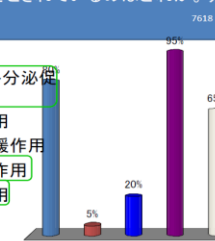
「エスタックイブファイン」の配合成分のうち、乳児への悪影響は不明だが、乳汁への移行が知られているのはどれか。すべて選びなさい。

1. イブプロフェン
2. アンブロキシソール塩酸塩
3. ジヒドロコデインリン酸塩
4. dl-メチルエフェドリン塩酸塩
5. クロルフェニラミンマレイン酸塩



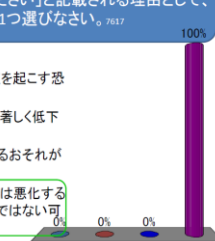
「エスタックイブファイン」に配合されているアンブロキシソール塩酸塩のはたらきとされているのはどれか。すべて選びなさい。

1. 肺サーファクタント分泌促進
2. 気道粘膜消炎作用
3. 気管支平滑筋弛緩作用
4. 気道液分泌促進作用
5. 線毛運動亢進作用



「エスタックイブファイン」の使用上の注意に、「5日間を超えて服用しないでください」と記載される理由として、適切なものはどれか。1つ選びなさい。

1. 偽アルドステロン症を起こす恐れが高まるため。
2. 配合成分の効果が著しく低下するため。
3. 光過敏症を誘発するおそれがあるため。
4. 症状が続くときは悪化するようになるときは、かぜではない可能性が高いため。



TurningPoint ARS(オーディエンス・レスポンス・システム)

TurningPoint ARSとは?
TurningPoint ARSは、先生と学生との双方向授業を支援するツールです。

TurningPoint ARSに必要なものは?

- ResponseCard (参加者が各一台使用)
- レスナーバ (ソフトウェアがインストールされたPCに挿入)
- TurningPointソフトウェア (PCにインストール、無料ダウンロード) の3点となります。

①簡単スライド作成
ソフトウェアをインストールしたPCで、質問スライドの簡単作成します。

②瞬間集計表示
プレゼンテーション中に、その場で参加者の意見を集計表示します。

③Excel/Wordで、簡単レポート作成
集計データでレポートを簡単作成します。約30種類のレポート作成が可能です。

www.keepingpad.com

アンケート1 (2009/6/2日本テレビ「ミヤネ屋」を見て)

○新しい制度が導入され、薬を買う人も売る人も困ったような雰囲気でした。確かに不便であるかもしれませんが、薬局やコンビニでいいかげんな売り方になってしまうかもしれませんが、薬の危険性を知っていただくことは重要ですし、セルフメディケーションをするということが基盤となっていることもあまり認識されていないようでした。番組では薬事法を改めて良くなることなどいい点が紹介されていなかったような気がしました。

○薬学関係者(薬剤師など)と一般市民の間で、考え方に大きな隔たりがあるのを感じました。私は、リスクの高い第一級医薬品は、薬剤師が管理すべきだから、陳列の方法についての薬事法改正は良かったと思います。ただ、登録販売者の出現や、大手スーパーなどがOTC医薬品を販売するようになった事で、薬局の経営が大変になって、薬局及び薬剤師同士が戦う時代が来るかもしれないと思いました。服装を薬剤師、登録販売者、その他スタッフ(バイトなど)で分ける事は必要だと思うし、リスクの高い第一類医薬品を対面方式で薬剤師が販売するようにしたのも、適正使用法を患者へ伝えるために大切だと思います。長い年月かけて培う薬学の知識を生かせるよう、勉強やコミュニケーション力、判断力や説明する力を培って、将来現場でそれらを生かせる薬剤師になりたいです。

○この番組を見て、薬学を学ぶ私たちと、消費者である一般の人たちの間には、やはり考え方に差があると思う。私たちからすれば、その薬の副作用を起こさせないために説明をしたい。でも一般の人はそれが面倒であったりするし、登録販売者が90%くらいの一般用医薬品を売れるのに薬剤師の意味で・・・?とも思われているようであった。それに、副作用なんてめったに起こらないんだからいいじゃない、とか、薬局で症状を聞かれるって・・・など、そのうち、説明の義務もなくなるだろうとも言われた。副作用が出たら困るのは絶対自分だし、その病気が重篤なものだとしたら、薬の相互作用が起こったらどうするつもりなのだろうか？

すごく悲しくて悔しい気分になった。一般の人に薬の説明義務の重要性を広めるべきだと思う。

○高齢者においては腎機能が低下していたりして、現在の症状が悪化したり、副作用が現れたり、成人に比較してよりリスクが高く、服用してはいけない場合もある。今の時代、ネットは簡単で便利なものであるが、できる限り薬局などに出向いて薬を購入してもらいたいと思う。薬剤師は、一人一人の生活をずっと見ているわけではなく、一瞬でその人の状態を把握しなくてはいけない。薬剤師は、これから購入者に信頼されるようにならなくてはならないと思った



アンケート2(今回のゼミナールについて)

【内容】OTC医薬品を販売することの大変さと意義を理解することができた。 ○このゼミをうけて、将来の自分のイメージが少しできたような気がします。 ○OTC薬は同じようなものと安易に考えていたので詳しく知れてよかった。 ○OTC薬に興味を持てるようになった。 ○実際に患者に対して医薬品について詳しく説明することがとても難しいことだと実感しました。 ○今まで受けてきた授業の中で一番実践的だったと思う。 自分で理解して自分の言葉で言うのはとても難しいことだと改めて思った。 ○OTC医薬品の現状などが分かってよかったです。 ○普段の授業ではあまり触れられないOTC薬について勉強できた。 ○添付文書を覚えるだけじゃいけないことが分かったし覚えたことを分かりやすく伝えることはすごく難しかった。 ○OTC薬の添付文書には様々な情報が詰まっていることが分かった。

【方法】○パソコンの教材が使いやすく、楽しく勉強できた。 ○ 問題演習など、知識の定着化がとても良く感じられた。 ○今回使用したネット上のテキストは、動画もたくさんあったので、とても理解しやすく良かったです。もっと普及させてください。 ○ボタンを使ったクイズ形式のテストは良かった。 ○もしまた機会があったらe-ラーニングで知識を深めていきたと思う。 ○原稿を読みながら発表するのは面白くないと思っていましたが、勉強したことを人に伝える難しさを知りました。

【感想】○4,5,6年生になっても、あのような動画で勉強できたら有意義に使用できると思いました。もっと普及させてください。 ○覚えたことを分かりやすくつたえるのはすごくむずかしいと思った。 ○この方式を他のゼミにも取り入れてほしい。 ○将来薬局薬剤師になりたいと考えていたので、OTC薬について学べたのは良かったです。 ○OTC薬を販売することは、大変なことであり、全ての知識を持っていなければ対応できないということを身をもって感じる事ができました。 ○くすりについて患者の疑問に適切にこたえることができるように、知識、技能を身につけなければいけないと思った。○自分で理解して自分の言葉で言うのはとても難しいことだと改めて分かった。 ○今までにない、新鮮なゼミナールだったように感じました。数日間で成長を感じたように思います。将来「一人前の薬剤師」になれるよう頑張りたいです。

まとめ

OTC薬教育の内容と順序: 症状の把握(症状から疾患・病状を推定、必要があれば受診勧奨)の前に医薬品について添付文書を中心に調査・グループ学習・発表を行うことはOTC薬の対応に関する理解を容易にする。

添付文書を中心とした調査・発表: 添付文書は良い教材であり、これを中心に、個人課題学習、グループ学習、グループ発表の順序で行い、理解力を増すことができたと考える。特に資料なしでのグループ発表は、理解度を高めるのに有効。

e-ラーニングの利用: 有効なスキルであり、学生からも好評であった。今回の3年生での利用は、OTC薬販売に必要な知識・知恵のガイドラインを示すために利用することができた。教材としてのスキルアップ、4,5年への継続性等についてはさらに検討が必要。

レスポンス・システム(Keepad)を用いた演習: 解答への対応が速やかにでき、ディスカッションに有効。

テレビ番組を利用した現状の把握と考察: 今回学んだことと現実を対比して考え、薬剤師の必要性を再認識できたと思う。

セルフメディケーションのための 薬剤師養成プログラム



「自分の健康は自分でまもる」セルフメディケーションの第一線で活躍できる薬剤師になるために役立つサイトです。

活動報告・お知らせ

- 09月03日 「高校・大学の連携による薬剤師養成の取組:実施一覧」を追加しました。
- 08月20日 「高校・大学の連携による薬剤師養成の取組」をオープンしました。
- 08月20日 「小中学生のためのセルフメディケーション教育:実施一覧」を追加しました。
- 08月05日 方針会議を開催しました。テーマ「CeFox 東京薬科大学の薬事法改正に対応した薬剤師養成プログラムについて」
- 07月20日 「小中学生のためのセルフメディケーション教育:実施一覧」を追加しました。

News 最近の関連情報

▶一覧へ

Seminar セミナー・イベント情報

▶一覧へ

薬剤師に必要な知識・情報源

- セルフメディケーションとは？
- セルフメディケーションの基礎知識
- OTC医薬品の基礎知識
- 改正薬事法・新販売制度に関する情報
- 登録販売者制度に関する情報

- くすり教育の情報源
- 医薬品・食品等の安全に関する情報
- 健康食品・サプリメントに関する情報
- くすりに関する相談窓口

【画像をクリックするとセルフメディケーション Pro. にリンクします】

セルフメディケーション時代に求められる薬剤師像

東京薬科大学の薬事法改正に対応した薬剤師養成プログラム

セルフメディケーション薬剤師の関わり方

小中学生のためのセルフメディケーション教育

高校・大学の連携による薬剤師養成の取組

東京薬科大学

自分の健康は自分でまもる セルフメディケーション・ネット

専門スタッフのための情報サイト セルフメディケーション Pro.

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」 大学教育推進プログラム【テーマA】に基づく活動

セルフメディケーション 薬剤師の関わり方

東京薬科大学におけるセルフメディケーションに関する取り組み

第4学年 科別特論演習 医療衛生薬学演習I-I
～セルフメディケーション:薬剤師の関わり方～

【学習目標】
生活習慣病に係る医療費が財政に大きな負担を与えている背景から、国では「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」を策定し、国民自らが健康増進に努め、こうした病を予防しようとする考え方、すなわち「セルフメディケーション」を推進している。

本演習では、一般用医薬品(OTC薬、漢方薬も含む)、保健機能を有する食品、健康状態を知るための分析技術などの視点から、「セルフメディケーション」への薬剤師の関わり方についての知識・態度を修得する。

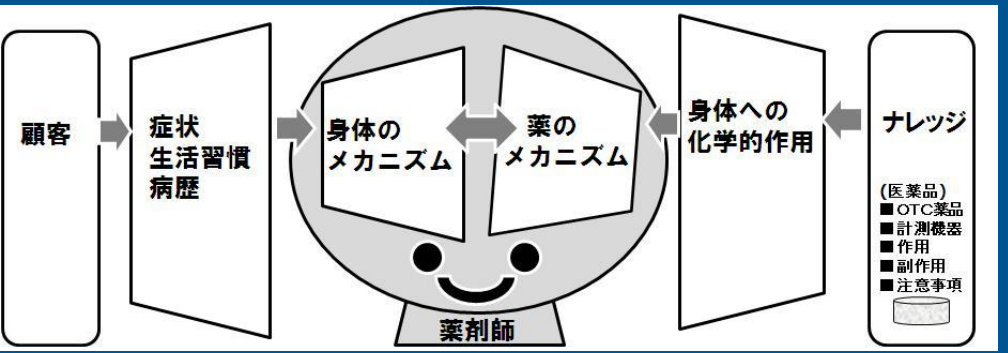
サブテーマとして以下の4項目をあげて実施する。

- OTC薬の選択と指導
- セルフメディケーションのための簡易計測
- 保健機能を有する食品の有用性とリスク管理の必要性
- 一般用医薬品(漢方薬も含む)を中心としたセルフメディケーションの提案

<http://selfm-toyaku.jp/>

実施報告

- OTC薬の選択と指導
 - 実施報告(1～13ページ[PDF])
 - 事例検討の書き方1,2(85～95ページ[PDF])
 - 事例検討(グループ学習)(96～123ページ[PDF])
 - 事例作成(全身、神経系、消化器系、皮膚、眼、その他)(159～174ページ[PDF])
 - 感想文(175～182ページ[PDF])
- セルフメディケーションのための簡易計測
 - まえがき [PDF]
 - 概要 [PDF]
 - テキスト [PDF]
 - 評価 [PDF]
 - 感想文 [PDF]
- 保健機能を有する食品の有用性とリスク管理の必要性
 - 第7回日本セルフメディケーション学会 発表資料[PDF]



薬剤師の思考プロセス

セルフメディケーションを実現できる薬剤師

平成21年6月1日の薬事法改正により、OTC医薬品^{*1}の販売方法が変わり、薬剤師による対面応答が義務付けられました。一方では医薬品の販売に対し、登録販売者制度も導入されました。そんな中、薬事法の改正に対応でき、顧客のセルフメディケーション^{*2}を指導、サポートできる、「信頼される薬剤師」の存在が必須となると考えます。「顧客への問診等を通じて顧客の身体状況を理解し、医薬品の適用も含めた適切な対処方法を選定・提案し、わかりやすく顧客に伝える」ことがこれからの薬剤師に求められています。

*1 OTC医薬品とは：薬局・ドラッグストアなどで販売されている医薬品
*2 セルフメディケーション(Self-medication)とは：自身が軽い疾病や健康状態を管理することで、かかる手間と費用を抑制する効果が期待される。WHOでは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調(minor ailments)は自分で手当てすること」と定義し、世界規模で提唱を続けている。

セルフメディケーションには、「薬による治療の専門家であり、その専門性を生かして治療を推進する薬剤師」と「健康や病気に関する正しい知識を持ち、薬の基礎知識と適切な使い方を身につけた顧客」との間に、よりよいコミュニケーションができ、信頼関係を築くことが必須でしょう。

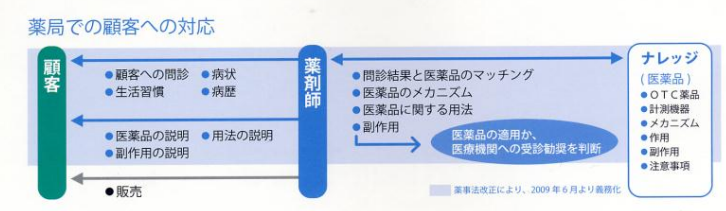
薬剤師	顧客
<ul style="list-style-type: none"> セルフメディケーションを支援する役割を担う。 専門家としての知識・経験を高める。 薬剤師の職能を理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康状態を常にチェックする。 自分で病気にかからない為の生活改善を実現。 自分の健康・病気・薬に関する知識を高める。

セルフメディケーション実現のために最も重要なことは、「薬剤師一人ひとりが薬のスペシャリストとしての資質を向上させること」です。「セルフメディケーション学」は、そうした薬剤師を育てるためのプログラムです。

本学が育てる薬剤師

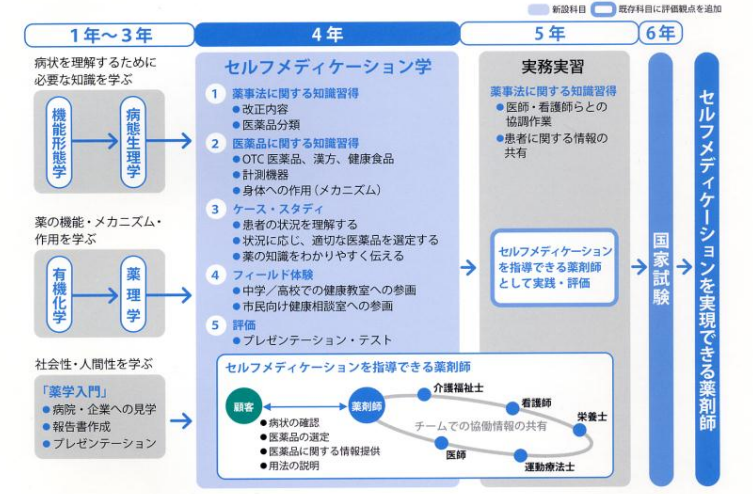
- 顧客の状況を的確に理解する力
 - 顧客から症状など必要な情報を得ることができる。
 - 症状から病状を的確に把握できる。
 - 顧客の病歴を管理できる。
- 状況に応じた適切な医薬品を選定する力
 - 症状のメカニズムについての説明ができる。
 - 症状に関連した医薬品の作用メカニズムについて説明できる。
 - 症状よりOTC薬の選択あるいは受診勧奨ができる。
- 薬の知識を分かりやすく伝える力
 - 医薬品の選択理由が説明できる。
 - OTC薬の服薬指導ができる。
 - 副作用に関する情報を的確に説明できる。

セルフメディケーションを実現できる薬剤師



カリキュラム

本学のカリキュラムでは、医薬品、疾患、治療法に対する知識を身につけ、OTC医薬品の販売において、薬の専門家として深く関わることができ、「セルフメディケーションを実現できる薬剤師」を育成します。



PCを利用したケース・スタディ学習コンテンツ

「症例を中心としたケース・スタディ」は、問診の様子を示す映像・アニメーションによる症例別コンテンツと、医薬品データベースにより構成されます。提示された症例別コンテンツから、対処方法を検討し、医薬品・健康測定機器を医薬品データベースから選定した後、その判断の妥当性を評価します。これらのプロセスを通して、顧客より得た情報から身体の状態を推論し、医薬品とマッチングさせることの重要性を学びます。



セルフメディケーションに関する情報のホームページはこちら→ <http://selfm-toyaku.jp>